



TOHO IR Report

「TOHO VISION 2018」の目標を達成 新・中期経営戦略で更なる邁進

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに株主通信をお届けし、第129期における当社グループの事業状況ならびに
今後の取り組みなどについてご報告いたします。



代表取締役社長
島谷能成

第129期を振り返って

第129期は、2015年に策定した中期経営戦略「TOHO VISION 2018」の総仕上げの1年とすべく、事業の三本柱である「映画・演劇・不動産」において、業績の伸長と企業価値の向上に邁進してまいりました。

映画事業においては、『名探偵コナン 紅の恋歌』『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』がシリーズ最高記録を更新いたしました。夏休み作品では当社幹事作品『君の膵臓をたべたい』、お正月作品では『DESTINY 鎌倉ものがたり』が興行収入30億円を超えるヒットを記録しました。東宝東和(株)配給の洋画作品も『SING／シング』『ワイルド・スピード ICE BREAK』のヒットに加えて『怪盗グルーのミニオン大脱走』が興行収入70億円を超える大ヒットとなり、全国に展開するTOHOシネマズが高稼働いたしました。また、前期に大ヒットを記録した『シン・ゴジラ』『君の名は。』のパッケージ・ソフト等の二次利用収入が、

業績に貢献いたしました。

演劇事業においては、帝国劇場で『レ・ミゼラブル』、シアタークリエで『RENT』等が大盛況となりました。また新作として『ビューティフル』等を上演し、新たなラインナップ開拓にも取り組みました。

不動産事業においては、不動産賃貸事業では空室率が低く推移し堅調だった他、道路事業を手掛けるスバル興業(株)が好業績を収めました。

その結果、当社グループの第129期業績は、営業収入が2,426億6千8百万円（前年度比3.9%増）、営業利益475億8千6百万円（同5.3%減）、経常利益486億4千5百万円（同5.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益335億5千3百万円（同0.9%増）となり、「TOHO VISION 2018」における最終年度の数値目標を上回る成績を残すことができました。

第130期の見通しについて

当社グループはこの度、今後3年間の中期経営戦略である「TOHO VISION

2021」を発表いたしました。

これまで築き上げてきた「強み」をさらに盤石なものとし、本業である「映画・演劇・不動産」の深耕と拡充を目指す「主軸戦略」をベースに、キャラクタービジネスや海外市場開拓を軸とした「ブレイクスルー（突破）戦略」によって飛躍的な成長を実現し、エンタテインメント業界のリーディング・カンパニーを目指してまいります。同時に、技術革新等により大きく変化する経営環境を見越し、新規事業の開発・育成による裾野拡大にも取り組んでまいります。

また、本年3月には、当社創業の地である日比谷に13スクリーン、約2,800席の「TOHOシネマズ 日比谷」がオープンし、多くのお客様にご来場いただいております。当社が運営するショッピングセンター「日比谷シャンテ」も、1987年の開業以来最大規模のリニューアルを実施しました。演劇劇場の「帝国劇場」や「シアタークリエ」を含め、日比谷地区は「日本版ブロードウェイ」として大きく生まれ変わり、新たな進化を遂げて

おります。

来期の映画事業においては、定番のアニメシリーズに加え、細田守監督の3年ぶりの新作『未来のミライ』やテレビアニメを経て待望の映画化となる『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ～2人の英雄～』、洋画のメガヒットシリーズ『ジュラシック・ワールド／炎の王国』といった話題作を提供いたします。演劇事業では、夏に堂本光一と井上芳雄の2大ミュージカルスターの競演で大きな注目を集める新作『ナイツ・テイル-騎士物語-』を上演いたします。

幅広いお客様に楽しんでいただける映画や演劇をお届けし、皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。

なお、第130期の通期業績は、営業収入2,292億円、営業利益380億円、経常利益398億円、親会社株主に帰属する当期純利益263億円と予想しております。

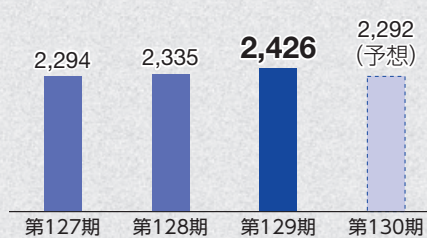
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

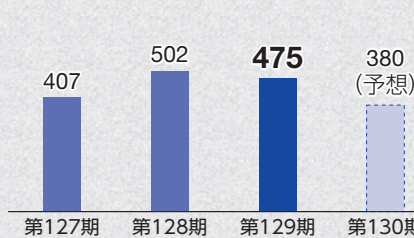
より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。
アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>



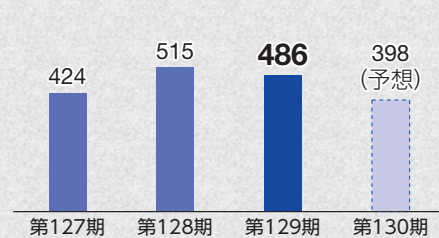
≫営業収入（億円）



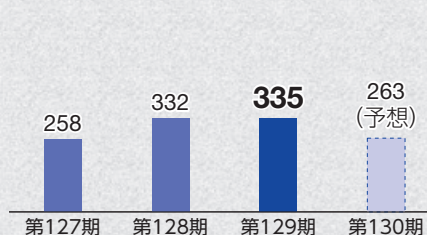
≫営業利益（億円）



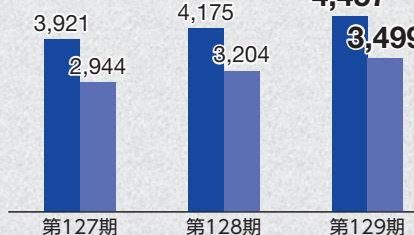
≫経常利益（億円）



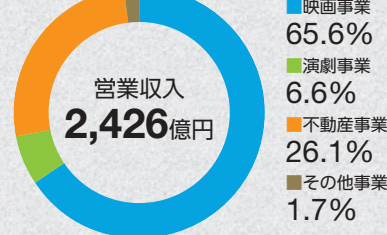
≫親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



≫総資産/純資産（億円）



≫事業部門別営業収入構成比（億円）



Cinema Business

映画事業



『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2017



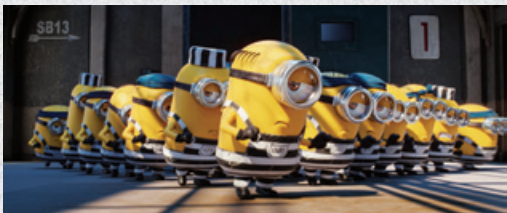
『名探偵コナン から紅の恋歌』
©2017 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会



『SING／シング』
© Universal Studios.



『ワイルド・スピード ICE BREAK』
© Universal Studios.



『怪盗グルーのミニオン大脱走』
© Universal Studios.

当期中の提供映画作品（映画営業事業）※映像事業部配給作品を除く

- 映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険
 - チア☆ダン
～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～
 - 3月のライオン【前編】
 - ひるなかの流星
 - 映画クレヨンしんちゃん 襲来!! 宇宙人シリリ
 - 名探偵コナン から紅の恋歌
 - 3月のライオン【後編】
 - 帝一の國
 - 追憶
 - ちょっと今から仕事やめてくる
 - 昼顔
- 忍びの国
 - メアリと魔女の花
 - 劇場版ポケットモンスター キミにきめた!
 - 君の薔臓をたべたい
 - ジョジョの奇妙な冒険
ダイヤモンドは砕けない 第一章
 - 打ち上げ花火、下から見るか？ 横から見るか？
 - 関ヶ原
 - 三度目の殺人
 - 奥田民生になりたいボーイと
出会う男すべて狂わせるガール
 - 亜人
- ナラタージュ
 - ミックス。
 - ラストレシピ ～麒麟の舌の記憶～
 - 火花
 - DESTINY 鎌倉ものがたり
 - 映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活
 - 未成年だけどコードじゃない
 - 嘘を愛する女
 - 祈りの幕が下りる時
 - 空海-KU-KAI-美しき王妃の謎

当期中の劇場異動

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2017年 3 月31日	TOHOシネマズ 天神・本館	▲6	福岡県福岡市	TOHOシネマズ(株)	閉館
2017年11月 4 日	TOHOシネマズ 上野	8	東京都台東区	TOHOシネマズ(株)	オープン
2017年11月24日	TOHOシネマズ 赤池	10	愛知県日進市	TOHOシネマズ(株)	オープン
2018年 2 月 4 日	TOHOシネマズ 日劇	▲3	東京都千代田区	TOHOシネマズ(株)	閉館
2018年 2 月16日	OSシネマズ神戸ハーバーランド	1	兵庫県神戸市	オーエス(株)	増館

Movie Line-Up

ムービーラインナップ



『未来のミライ』
©2018 スタジオ地図



『ジュラシック・ワールド／炎の王国』
©Universal Pictures



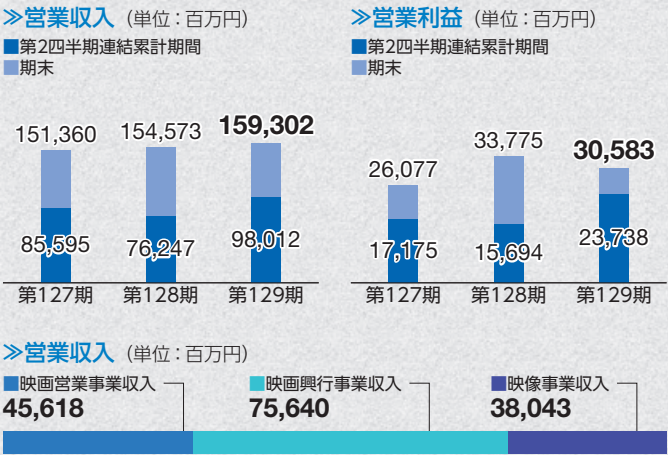
『GODZILLA 決戦機動増殖都市』
©2018 TOHO CO., LTD.

2019年2月期の見通し

- 映画営業事業では、当社において下期の来期提供予定映画作品を配給する予定です。東宝東和(株)等において『ジュラシック・ワールド／炎の王国』『ミッション：インポッシブル／フォールアウト』などの配給を予定しており、映画営業事業収入は435億円（前年度比4.6%減）の見込みです。
- 映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)等において当社配給作品に加え『ハン・ソロ／スター・ウォーズ・ストーリー』『インクレディブル・ファミリー』（ウォルト・ディズニー）等の大作・話題作を予定しており、映画興行事業収入は755億円（前年度比0.2%減）の見込みです。
- 映像事業では、パッケージ事業において『亜人』『ナラタージュ』『ラストレシピ～麒麟の舌の記憶～』等のバラエティに富んだ作品のソフト販売を行う予定です。ODS事業ではシリーズ第2弾となる『GODZILLA 決戦機動増殖都市』の配給を予定しており、商品化も含めて引き続き盛り上げてまいります。アニメ製作事業では、『僕のヒーローアカデミア』のTVアニメ第3期と劇場版を、森見登美彦の小説『ペンギン・ハイウェイ』等の劇場版アニメーション等を製作し、新たなファン層の拡大に努めてまいります。なお(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)等、連結子会社も含めた映像事業収入は291億円（前年度比23.5%減）の見込みです。
- 以上から、映画事業収入は1,481億円（前年度比7.0%減）の見込みです。

当期の取り組みと実績

- 映画営業事業では、『名探偵コナン から紅の恋歌』が興行収入68億円を超えシリーズ最高記録を更新、『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』も興行収入44億円を超え新シリーズでの記録となりました。夏休み作品では当社幹事作品の『君の薔臓をたべたい』や、『メアリと魔女の花』『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』が、お正月作品では『DESTINY 鎌倉ものがたり』が興行収入30億円を超えるヒットを記録しました。東宝東和(株)等では、『SING／シング』が興行収入50億円を、『ワイルド・スピード ICE BREAK』が興行収入40億円を超え期待を上回るヒットを記録しました。とりわけ人気シリーズ第3弾の『怪盗グルーのミニオン大脱走』は夏休み作品No.1の興行収入70億円を超える大ヒットを記録したほか、『トランスフォーマー／最後の騎士王』等、13本を配給いたしました。
- 映画興行事業では、当社グループ配給作品のほか『モアナと伝説の海』『美女と野獣』『パイレーツ・オブ・カリビアン／最後の海賊』『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』（いずれもウォルト・ディズニー）等が大ヒットを記録しました。
- 映像事業では、パッケージ事業において『シン・ゴジラ』『君の名は。』の販売が、業績を大きく牽引しました。アニメ製作事業では『GODZILLA 怪獣惑星』『僕のヒーローアカデミア』等に出資いたしました。また出版・商品事業は『名探偵コナン から紅の恋歌』『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』等のパンフレットやキャラクターグッズが順調に推移いたしました。



来期提供予定映画作品（映画営業事業）※映像事業部配給作品を除く

- 映画ドラえもん のび太の宝島
 - 坂道のアポロン
 - ちはやふる -結び-
 - 映画クレヨンしんちゃん 爆盛!カンフーボーイズ〜拉麺大乱〜
 - 名探偵コナン ゼロの執行人
 - いぬやしき
 - となりの怪物くん
 - ラプラスの魔女
 - のみとり侍
 - 恋は雨上がりのように
- OVER DRIVE
 - 羊と鋼の森
 - 劇場版ポケットモンスター みんなの物語
 - 未来のミライ
 - 劇場版 コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-
 - センセイ君主
 - 僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ～2人の英雄～
 - 検察側の罪人
- ちいさな英雄 -カニとタマゴと透明人間-
 - SUNNY 強い気持ち・強い愛
 - 累 -かさね-
 - 響 -HIBIKI-
 - コーヒーが冷めないうちに
 - 散り椿
 - 億男
 - ニセコイ
 - マスカレード・ホテル

当期中の劇場異動予定

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2018年 3 月29日	TOHOシネマズ 日比谷	13	東京都千代田区	TOHOシネマズ(株)	オープン

New Release

ニューリリース

『GODZILLA 怪獣惑星』

2017年、新たな“進化”を果たした初の3DCGアニメーション映画。全3部作の第1章『GODZILLA 怪獣惑星』Blu-ray&DVDは5月16日(水)発売。
©2017 TOHO CO., LTD.

『火花』

又吉直樹の芥川賞受賞作が待望の映画化! 菅田将暉・桐谷健太W主演で贈る、300万人が笑って泣いた青春物語!! 6月13日(水)Blu-ray&DVD発売。
©2017「火花」製作委員会

『僕のヒーローアカデミア (TVアニメ第3期)』

原作はシリーズ累計発行部数1,300万部超! 夏には劇場版公開を控える、週刊少年ジャンプ王道ヒーローアクションのTVアニメ第3期。日本テレビ・読売テレビ系全国29局ネットにて放送中。Blu-ray&DVDは7月18日(水)より順次発売。
©週刊少年ジャンプ／集英社・僕のヒーローアカデミア製作委員会

『ペンギン・ハイウェイ』

「夜は短し歩けよ乙女」など数々のベストセラー作品をもつ森見登美彦の人気小説をアニメーション映画化! 気鋭のアニメーションスタジオ・スタジオコロリドが制作を担当。
<声の出演>北香那 蒼井優 8月全国ロードショー。
© 2018 森見登美彦・KADOKAWA／「ペンギン・ハイウェイ」製作委員会

Theatrical Business 演劇事業



『レ・ミゼラブル』



『RENT』



『屋根の上のヴァイオリン弾き』

当期の取り組みと実績

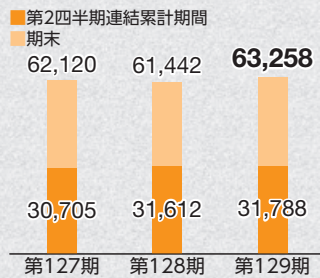
- ・帝国劇場では、3月の堂本光一主演『Endless SHOCK』が全日程即日完売となりました。5月～7月は日本初演30周年記念公演『レ・ミゼラブル』の3か月に及ぶロングラン公演で大入り、10月～11月は3年ぶりの再演となる『レディ・ベス』が幅広い客層に支持されて大盛況となりました。
- ・シアタークリエでは、4月～6月『ジャニーズ銀座2017』が完売となり、7月～8月は2年ぶりとなる『RENT』がファンからの期待に応えて大盛況となりました。
本年1月のシアタークリエ10周年記念コンサート『TENTH』が好評を博する等、バラエティに富んだラインナップを提供いたしました。
- ・日生劇場では、10月『ABC座 ジャニーズ伝説2017』が満員御礼、12月『屋根の上のヴァイオリン弾き』が盛況となり好成績を収めました。
- ・社外公演では、EXシアター六本木での5月『あさひなぐ』は「映画化と舞台化」という試みに挑戦し、当社初のコラボレーションを実現しました。
8月～10月『レ・ミゼラブル』や、9月『Endless SHOCK』等の東宝製作公演を全国各地で展開いたしました。

2019年2月期の見通し

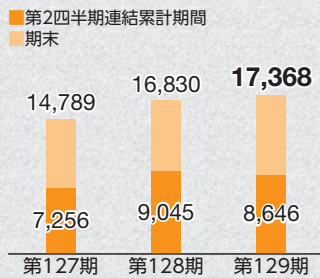
- ・演劇事業では右のStage Line-Upに紹介の数々の話題作をはじめ、社外公演にて東宝演劇を積極的に全国展開してまいります。
- ・演劇事業収入は154億円（前年度比3.6%減）の見込みです。

Real Estate Business 不動産事業

≫営業収入（単位：百万円）



≫営業利益（単位：百万円）



TM & © TOHO CO., LTD.

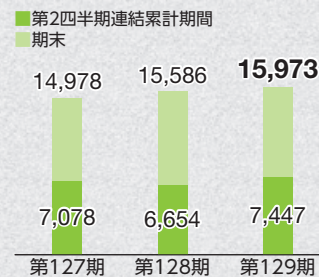
当期の取り組みと実績

- ・不動産賃貸事業では、昨年3月1日に不動産事業の再編を行い、それぞれが展開してきた不動産事業の戦略の一本化や、効率的な事業運営体制を確立することを目指し、子会社であった東宝不動産㈱を吸収合併しました。
全国に所有するビル諸設備等の改修・改善、賃料交渉をすすめるなど積極的な営業活動を推進し、空室率0.5%台で推移いたしました。
- ・東宝スタジオでは、『SUNNY 強い気持ち・強い愛』等の当社配給作品を中心に、テレビドラマやCM撮影を含めステージレンタルが順調に稼働いたしました。
- ・道路事業では、建設技能者不足や受注競争が激化する中、スバル興業㈱とその連結子会社が積極的な営業活動により、高速道路をはじめとする維持作業・補修工事の受注に努めるとともに、既存工事の増工や追加受注を積み重ねました。また、原価管理によるコストの削減を図り、業務の効率化による収益性を高め、増益となりました。

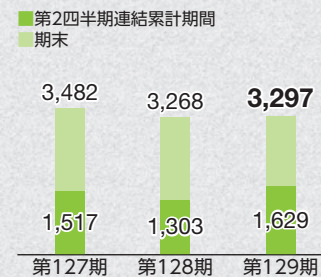
2019年2月期の見通し

- ・不動産賃貸事業では、引き続き積極的な営業活動を行いつつ、長期的な視野に立った設備改修や再開発等を計画し、全国に所有する不動産の有効活用に努めてまいります。
商業施設「日比谷シャンテ」は開業30周年を迎えた昨年から全3期に分けて開業以来最大規模となるリニューアルを行いました。新たな日比谷のランドマークとして、より多くのお客様にご来場いただくよう取り組んでまいります。
- ・東宝スタジオでは、当社配給の劇場映画作品のみならず、CMを含めステージレンタルやポスプロの誘致を積極的に行ってまいります。
- ・道路事業ではスバル興業㈱とその連結子会社において、工事の効率化に努め、受注拡大を図ってまいります。
- ・不動産保守・管理事業では㈱東宝サービスセンターと東宝ビル管理㈱において厳しい低価格競争の中、コスト削減とともに新規受注拡大に取り組んでまいります。
- ・以上から、不動産事業収入は621億円（前年度比1.8%減）の見込みです。

≫営業収入（単位：百万円）



≫営業利益（単位：百万円）



Stage Line-Up ステージラインナップ

2018年7月～8月 帝国劇場公演『ナイツ・テイル-騎士物語-』

類まれなる3つの才能が紡ぐ新作シェイクスピアミュージカル、誕生。2000年に帝劇デビューを果たした堂本光一・井上芳雄と、『レ・ミゼラブル』等の演出で知られるジョン・ケアードがタッグを組み、王女の愛を競う二人の貴公子の物語を描きます。話題沸騰の本作に、是非ご期待ください。



2018年6月～7月
シアタークリエ公演
『シークレット・ガーデン』

20世紀初頭に発表された不朽の名作小説『秘密の花園』が、ミュージカルとなって登場。トニー賞3部門など多くの賞を受賞した本作は、日本初上演。両親を失った少女と彼女を引き取った伯父との心の交流を、主演の石丸幹二・花總まりをはじめとした実力俳優陣で贈ります。



2018年9月
東急シアターオーブ公演
『マイ・フェア・レディ』

珠玉の名作ミュージカル、再演決定！ロンドンの下町の貧しい花売り娘・イライザが言語学者のヒギンズ教授との出会いにより貴婦人へと生まれ変わっていく物語が、朝夏まなと・神田沙也加を“新プリンセス”に迎え蘇ります。名作の新たな姿に、是非ご期待ください！



2018年10月～11月 帝国劇場公演 『マリー・アントワネット』
2018年 9月～10月 シアタークリエ公演 『ジャージー・ボーイズ』
2018年11月～12月 シアタークリエ公演 『ピアフ』

Other Business その他事業

当期の取り組みと実績&2019年2月期の見通し

- ・娯楽事業及び飲食・物販事業の営業収入は41億3千4百万円（前年度比112.4%増）となりました。
- ・来期は東宝共栄企業㈱、㈱東宝エンタープライズ、TOHOリテール㈱において積極的な営業施策を展開し、来場者の新規獲得に努めてまいります。
- ・その他事業収入は36億円（前年度比12.9%減）の見込みです。

Topics トピックス

ゴジラの聖地・新宿に、世界初の公式ゴジラグッズショップが誕生！

2017年10月、新宿 マルイ アネックス1Fに、「ゴジラ・ストア Tokyo」がオープンしました。これまでも通信販売サイト「ゴジラ・ストア」や期間限定のショップはあったものの、常設店としてのオープンは初めてで、世界初の公式ゴジラグッズショップとなりました。

オープンから半年あまりが経った今も、多くのお客様にご来店いただいています。ゴジラファンの方々はもちろんのこと、女性や外国人のお客様も目立ち始め、ゴジラ人気が着々と広がりを見せ、根強いものになっていることがうかがえます。

ストアでは、お土産品、フィギュア、雑貨、アパレルなど約500種類のアイテムを展開しており、ここでしか買えない限定商品も取り揃えています。これらもお客様のニーズを満たす新商品を絶えず提供してまいりますので、是非一度お立ち寄りください。

5月18日にはアニメーション映画第2弾『GODZILLA 決戦機動増殖都市』、2019年にはレジェンダリー・ピクチャーズ社によるハリウッド版『GODZILLA2』の公開も予定され、ゴジラの勢いはまだまだ止まりません。今後も『ゴジラ』を取り巻くビジネスにご期待ください。



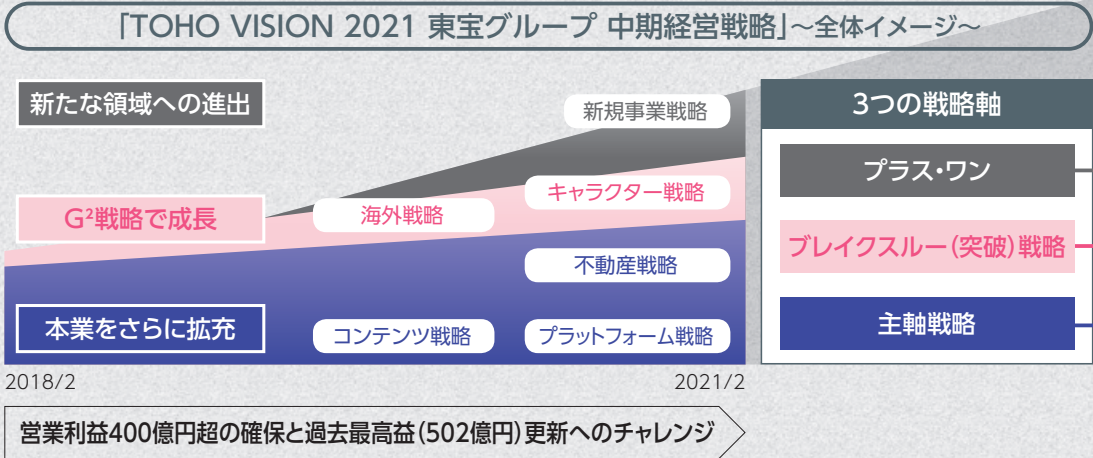
Topicsトピックス

「TOHO VISION 2021 東宝グループ 中期経営戦略」を新たに策定

当社グループは、創業以来「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」を企業の使命として、映画・演劇を中心に、幅広い層のお客様に夢や感動、喜びをもたらす数多くのエンタテインメント作品を提供してまいりました。それらを支える収益基盤として、所有不動産の有効活用を図り、「映画・演劇・不動産」を事業の三本柱として、経営基盤の強化と企業価値向上に努めてまいりました。

東宝グループが更なる成長を遂げていくために、2015年4月に策定した「TOHO VISION 2018 東宝グループ 中期経営戦略」の後継で、2021年2月期に向けた「TOHO VISION 2021 東宝グループ 中期経営戦略」を新たに策定いたしました。

今後は、ここに記載された経営戦略・数値目標を実現するために、全力で取り組んでまいります。



技術革新等により大きく変化する経営環境を見越して、新規事業の育成による裾野の拡大に取り組む

「エンタテインメント領域」に積極的な戦略的投資 異業種も含めた外部との連携を図り、本業とのシナジーが見込める以下の事業領域にターゲットを定める。

「5つの事業領域」
「海外市場開拓領域」・「才能と権利領域」・「エンタメ コト消費領域」・「IT デジタル領域」・「その他の領域」

「ゴジラ Godzilla」を軸としたキャラクタービジネス、東宝・日本のIPの「海外 Global」展開、この2つのGを伸ばしろ（ブレイクスルー領域）とし、積極投資を含めて重点的に取り組む＝G²戦略

「Godzilla」を軸としたキャラクタービジネスの強化
「TOHO=Godzilla Company」としてグローバルにゴジラ・ブランド価値向上を目指す」

「Global」JAPAN IP (日本の企画) の海外展開の本格化
「海外メジャー企画へ製作出资から参画することで、グローバルな収益からの配分を見込む」

東宝グループがこれまでに築き上げてきた「強み」をさらに盤石なものとするため、従来の戦略を深耕・拡充し、3戦略を有効に噛み合わせることで、一層の経営基盤強化を目指す

コンテンツ戦略 『企画開発力をさらに強化し、新機軸の作品を創出する』

プラットフォーム戦略 『他では得られない上質な「エンタテインメント体験」を提供する』

不動産戦略 『保有物件を総点検し、開発と資産の入れ替えを企画・推進する』

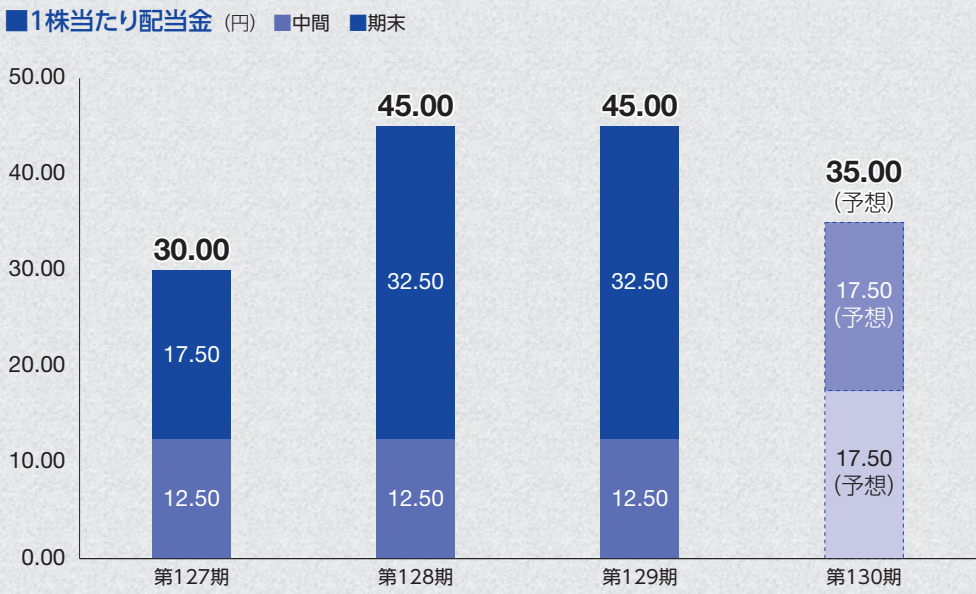
Information株主様向け情報

配当金について

当社では、財務体質の強化と将来の資金需要に備えた内部留保を勘案しつつ、株主の皆様に対する利益還元の充実を図るため、年間配当金25円を基本的な水準に置きながら、業績が予想や目標を上回って推移した場合には、業績連動分として追加の配当を積極的に検討していく方針としております。

上記の基本方針を踏まえ、当期（129期）の年間配当金は、歴代最高記録だった前期に比肩するレベルで当期業績が推移したため、前期と同額の1株当たり45円といたしました。

なお、次期（130期）の配当金につきましては、年間配当金の基本的な水準25円を35円に引き上げ、中間17.5円、期末17.5円を予定しております。



株主メモ	事業年度	3月1日～翌年2月末日	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	定時株主総会	5月	郵便送先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料）
	配当金受領株主確定日	期末配当金・・・2月末日 中間配当金・・・8月31日	公告掲載URL	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	基準日	定時株主総会 2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定める。		http://www.toho.co.jp/toho_ir/
	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。
	特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		